



絵本の魅力



好奇心と生きる力

絵本に出会うことは、子どもが生きる力を身につけるためにとっても大切なこと。子どもの興味や年齢、発達に合った絵本を大人が読んであげましょう。



イメージが膨らむ



赤ちゃんの笑顔が見られる

乳幼児期に一对一で絵本を読むことは、ふれ合う楽しさや心地よさを感じ、信頼関係や愛着関係が育っていきます。

『絵を見ながら言葉を聞く』ことで、心や頭の中でイメージがふくらんでいきます。

心を豊かに

子どもは、はっきりした絵や繰り返しの言葉を喜びます。リズムカルな言葉遊びや歌を楽しむ中で、心が豊かになります。その経験は、聞く力や語彙力へと繋がっていきます。



音を楽しむ絵本

～絵本の読み聞かせ方のポイント



0～2歳頃 行動範囲の広がりによって身近な物、動く物に興味や関心が出てきます。

ページをめくりながら「ワンワン」「ブーブー」等のお喋りもさかんになってきます。知っているものを見つけると嬉しくて、繰り返し読んで欲しがります。子どもの要求に応じて何度も読んであげましょう。



わらべ歌を歌いながら楽しめる絵本



繰り返しを楽しむ絵本



2歳頃 一画面で完結する絵本だけでなく、簡単な物語を理解したり、絵を探したりする喜びが出てきます。絵を見ながら「これ、なーに？」など聞きたがります。何度も何度も聞きますが、くり返し答える中で、やりとりを楽しむようになります。

忙しい毎日の中でも、時には子どもを膝の上に乗せて、興味を持った絵本と一緒に楽しんでみましょう。

